

別紙

委託契約書による支払金額は以下のとおりとする。なお、定期清掃分の委託料については要領で定める実施月に加算することとするが、協議の上、実施月に変更が生じた場合は、その変更月に加算することとする。

庁舎の名称	月 別	日常清掃	定期清掃	合 計
	4 月分			円
	5 月分			円
	6 月分			円
	7 月分			円
	8 月分			円
	9 月分			円
	10月分			円
	11月分			円
	12月分			円
	1 月分			円
	2 月分			円
	3 月分			円
	合計	円	円	円

清掃業務処理要領

清掃業務の処理については、委託契約書の定めによるほか、この清掃業務処理要領の定めによる。

1 基本事項

- (1) 清掃業務の処理に当たっては、良好な環境衛生の維持等に十分配慮するとともに委託者の業務に支障のないよう実施することはもとより、業務の実施に伴い発生した廃棄物の処理は、原則として受託者の負担とし、適正に処分すること。
- (2) 清掃業務の処理に当たっては、この要領に示す業務の処理に必要な数の作業員を配置すること。また、作業員の厳選はもとより、日常の訓練にも十分留意して業務を行うこと。
- (3) 清掃業務の処理に当たっては、主任者を配置して作業員の適性な業務処理の指導に当たらせるとともに、作業結果を点検すること。
- (4) 作業員には常に清潔かつ端正な服装をさせるとともに、職員及び来庁者に接する場合の言動等について十分留意するよう指導監督すること。
- (5) 各種建材の特性を十分認識した上、最適な清掃資機材を使用すること。
- (6) 清掃機材の取扱いに注意し、委託者の施設、備品等を損傷させないこと。
- (7) 清掃作業の実施により移動した椅子、その他の備品等は、必ず元の位置に戻しておくこと。
- (8) 用水及び電力の使用については必要最小限に止め、照明は作業終了次第直ちに消灯すること。
- (9) 火気には十分注意し、特に、消防法第2条第7号別表に定める発火性又は引火性の危険物は絶対に使用しないこと。
- (10) 借用した鍵は慎重に取り扱い、作業を遂行するために必要な時間と場所に限りて使用すること。
- (11) その他、細部の事項については委託者と協議すること。

2 費用の負担

清掃業務の処理に要する資材（洗浄用洗剤、ワックス、タオル等）、機材（ほうき、真空掃除機等）等は、一切受託者の負担とする。ただし、以下の消耗品については、委託者から支給するものとする。

- ①ビニルゴミ袋
- ②トイレトーパー

また水道及び電力の費用は委託者の負担とする。

3 作業範囲

作業基準表及び別添図面に示す指定場所を作業対象とする。

4 作業内容

- (1) 日常清掃
委託者の勤務日（以下「開庁日」という。）に作業仕様書及び作業基準表に基づいて作業を実施すること。
- (2) 定期清掃
委託者の勤務日以外の日（土曜日、日曜日、祝日及び12月29日から1月3日まで。以下「閉庁日」という。）に作業仕様書及び作業基準表に基づき作業を実施すること。
- (3) Pタイル等の床は、箒、電気掃除機等により埃を取り、床に付着している汚れを洗剤及びポリッシャーによる研磨により取り除いた上、樹脂ワックスを塗布すること。
- (4) 扉、階段等の金属部分は、磨き粉により磨くこと。
- (5) 小口タイル床は、箒、電気掃除機等により埃を取り、床に付着している汚れを洗剤により取り除いた上、ブラシにより研磨すること。

5 作業実施時間

- (1) 日常清掃は、閉庁日を除く毎日8時45分から17時30分までの間に行うものとする。ただし、事務室については職員の勤務に支障のない時間とする。
- (2) 定期清掃は、原則として、8時45分から17時30分までの間に作業を実施すること。
ただし、定期清掃のうち床面ワックス清掃及び繊維床清掃については、委託者が指定する月の第4土曜日又は日曜日の8時45分から17時30分までの間とするが、変更する場合は委託者と協議することとする。

6 報告等

- (1) 受託者は、作業実施時間、作業箇所等を記載した作業計画書を契約締結後、業務担当員に提出することとし、その作業計画書の内容を変更するときも、同様に提出すること。
また、定期清掃を実施するときも、あらかじめ同様の作業計画書を業務担当員に提出すること。
- (2) 専用部分の定期清掃を実施しようとするときは、あらかじめ当該専用部分に勤務する委託者の職員と協議すること。
- (3) 作業実施中に施設及び備品等の破損箇所を発見した場合は、直ちに委託者又は業務担当員に報告すること。
- (4) 清掃作業を実施したときは、その実施結果を、実施日の翌日（閉庁日の場合は直近の開庁日）までに清掃作業日誌により業務担当員に報告すること。

7 その他

- (1) この要領に定めのない事項であっても、現場の状況に応じ、軽微な作業で委託者が美観又は建物の清掃管理上必要と認めた作業は、委託料の範囲内で実施するものとする。
- (2) 作業実施に当たり、施設、備品等に故意又は過失により損害を与えたときは、受託者の責任において原状回復するものとする。
- (3) この要領に定めのない事項については、必要に応じて、委託者及び受託者が協議して定めるものとする。